

会報

KAI-HOU

No.366
2023.9.15



福島県視察研修

[開催報告]	2023年度第1回理事会	1
[開催報告]	社会福祉問題研修会	3
[開催報告]	第1回理事・監事研修会	4
[開催報告]	大阪府生協連役員研修「福島県視察研修」	5
[連載]	「サラダボウル～ひとりひとりが輝いて」	7
[スケジュール]		10

大阪府生協連 2023年度第1回理事会開催報告

開催概要

- I. 日時 2023年7月20日(木) 15時～16時23分
II. 場所 大阪府社会福祉会館 5階505
III. 出席者
(1) 理事：総数24名中、21名出席、3名欠席
(2) 監事：総数3名中、1名出席、2名欠席
(3) 陪席：1名出席
IV. 議長 タン会長理事
V. 議事の経過と要領とその結果

審議事項

1 役員報酬決定の件

勝山副会長理事より、役員報酬について、第62回通常総会で議決された役員報酬総額の範囲内で、支給対象役員（タン会長理事、中村専務理事）に対する支給金額及び支給方法について、人事委員会での討議を踏まえ、提案がされた。

討議の結果、提案の通り、全員異議なく承認された。

2 常任理事互選の件

中村専務理事より、常任理事の互選について、提案がされた。

討議の結果、提案通り、全員異議なく承認された。

【常任理事】50音順 下線部※新任

- 石原 淳
(生活協同組合コープこうべ 常務理事)
後藤 高宏
(近畿大学生生活協同組合 専務理事)
谷川 英子
(医療福祉生活協同組合おおさか 専務理事)
羽多野宏子
(北大阪医療生活協同組合 専務理事)
平尾 斎次
(全大阪労働者共済生活協同組合 専務理事)
藤井 貴浩
(大阪公立大学生生活協同組合 専務理事)
松岡 賢司
(生活協同組合おおさかパルコープ 常務理事)

3 他団体役員推薦の件

中村専務理事より、大阪府森林組合からの理事（非常勤）候補者推薦の要請を受け、中村専務理事を推薦する旨提案がされた。

討議の結果、提案の通り、全員異議なく承認された。

4 理事会の役割分担の件

中村専務理事より、理事の役割分担について、提案がされた。

討議の結果、提案の通り、全員異議なく承認された。

5 生協大会開催企画の件

小山事務局長より、生協大会の開催企画について提案がされた。また吉川理事から関連して生協大会実行委員会の報告があった。

討議の結果、提案の通り、全員異議なく承認された。

- 【日時】 2023年11月29日(水)
午前10時～13時30分予定
【場所】 大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）
7階ホール・1階パフォーマンススペース
【参加対象】 大阪府生協連会員生協 組合員、役員、一般
【開催趣旨】 戦争や紛争、気候危機、肥料の価格高騰などにより、世界的な食料危機が起こっています。多くの食料を輸入している日本における食料安全保障のあり方等について学び、生協の果たす役割について考えます。
また、展示交流コーナーを設置し、会員生協や他団体の活動を交流します。
【開催要領】 9：30 受付開始
10：00 開会
講演「迫る食料・農業危機！
～食と命を守るために私達にできること～」
東京大学大学院教授
鈴木 宣弘さん

- 11:05 会員生協活動報告
 ・地域、医療、大学の各生協から食に関する取り組みについての報告
- 11:40 講演・報告への質疑
- 12:20 展示交流コーナーで活動交流
- 13:30 閉会予定

6 分野別会議開催企画の件

小山事務局長より、「地域」「医療」「大学」「職域・共済」を対象とする分野別会議と、タン会長理事と女性役員との懇談会の開催企画について提案がされた。

討議の結果、提案どおり、全員異議なく承認された。

- ①「地域」「医療」「大学」「職域・共済」の分野別にて開催します。
- ②出席対象は各生協の専務理事もしくは専務理事が指名した代理の方とします。
- ③開催日程は10～12月の期間で、出席予定者の日程を調整した上で設定します。
- ④議題は「2023年度事業状況や重点課題、会員生協間連携、大阪府生協連への要望等について」とします。また各分野別の共通する課題等に基づき議題設定等が必要な場合は別途設定します。
- ⑤タン会長と大阪府生協連の女性理事・監事との懇談として、「女性役員懇談会」を開催します。開催日程は上記③と同様に別途調整します。

参加対象：タン会長理事、中村専務理事、羽多野常任理事、近藤理事、立花理事、谷川理事、西田理事、吉川理事

7 70周年記念企画案の件

小山事務局長より、大阪府生協連70周年企画案として、記念式典及び記念誌の企画素案について、提案がされた。

討議の結果、提案通り、全員異議なく承認された。

なお、この件について、次回理事会で最終確認することが、承認された。

報 告 事 項

報告事項

【大阪府生協連】

1. 第62回通常総会
2. 大学生への食の支援「第7弾」
3. 生協版ボランティアコーディネーター研修
4. 委員会報告
 - (1) 組織活動委員会
 - (2) 生協大会実行委員会
 - (3) 大規模災害対策協議会
 - (4) 健康チャレンジ実行委員会

【会員及び友誼団体等】

5. 全大阪消費者団体連絡会
6. OCoNoMi おおさか（大阪府協同組合・非営利協同セクター連絡協議会）
7. ホットネットおおさか（大阪府下避難者支援団体等連絡協議会）

【行政等】

8. おおさかスマートエネルギー協議会
9. 大阪府食育推進ネットワーク会議

社会福祉問題研修会を開催しました

7月26日(水)、大阪府社会福祉会館4階403にて、2023年度の「社会福祉問題研修会」を開催しました。5会員生協等から26名が参加しました。

今年度の研修会は、一般社団法人全国コープ福祉事業連帯機構の齋藤直人さんを講師に、「2024年度の介護保険制度改定と生協の取り組みについて（政策提言・自治体訪問活動等）」と題して、「1. 介護保険制度について」「2. 介護保険制度に関わる情勢について」「3. 今後の介護保険制度改定の論点について」「4. 生協の取り組み（政策提言、自治体訪問活動等）」についてお話いただきました。



第1回理事・監事研修会を開催しました。

8月23日(水)、「第1回理事・監事研修会」を開催しました。8会員生協、大阪府、日本生協連から55名が参加しました。

はじめに大阪府の生協を所管する府民文化部男女参画・府民協働課の原口晶野さんから「生協検査における特徴的な指摘事項」について、「生協検査の目的」「令和4年度検査で指摘した主な事項①組合員の自由脱退について、事業年度途中での脱退を認め、出資金の返還を同時に行っている。②総(代)会において、書面議決書及び委任状の提出があったが、内容に不備があるにも関わらず、有効票としている。③決算関係書類や事業報告書、それらの付属明細書、注記などの法令によって定められている記載事項に間違いや記載漏れが散見。④個人情報管理が適正なものとなっていない。⑤役員の理事会への出席について、特定の理事の出席が低調である。⑥二項組合員の組合加入において、定款等の規定に従って承認手続きが行われていない。加入時の加入承認基準が作成されていない。⑦法廷期限内に登録されていない。登記事項の変更登記が行われていない。⑧役員報酬又は役員退職慰労金の額が総代会で議決されていない。額の具体的な算定方法が定められていない。議案に必要な事項が記載されていない等の事項が報告されました。その他、次期繰り越し剰余金に教育事業等繰越金が含まれている旨の注記がない。政治的中立の確保について報告がありました。

続いて、日本生活協同組合連合会 法務部の菅本麻衣子さんを講師に、「生協における役員の職務と責任」について学習しました。菅本さんからは、「はじめに～ICA声明と生協法」にて、ICA声明における協同組合の「定義」と、生協法における「生活協同組合」像について。「1. 生協の活動・運営に関する法的なルール」にて、生協の活動と生協法、生協法と定款・規約の違いについて。「2. 生協の機関」にて、機関とは、生協の機関について。「3. 非常勤役員の役割と責任」にて、組合員理事・監事の役割、善管注意義務と忠実義務、非常勤役員の責任について。役員の責任が問われた事例等について講義をしていただきました。

第2回は、9月20日(水)に「生協のガバナンスと監事監査」をテーマに、第3回は10月18日(水)に「経営分析の基礎」をテーマに実施します。



大阪府からの報告



日本生協連 菅本さんの講義

福島県視察研修を開催しました

9月3日(日)～4日(月)の日程で、大阪府生協連役員を対象に、「福島県視察研修」を実施しました。理事・監事・事務局17名が参加しました。

同研修の実施にあたり、福島県生活協同組合連合会の佐藤一夫会長には、視察コースの組み立てから、当日のご同行、バス移動時の、「東日本・津波・原発事故大震災から12年」「福島発！ALPS処理水の海洋放出は国民みんなの課題」の講義等、多大なご協力をいただきました。

一日目は、大阪国際空港を午前9時過ぎに出発し、10時30分過ぎに仙台空港に到着。仙台空港で佐藤会長のお出迎えを受けて、貸切バスに乗換え福島県双葉町に向かいました。双葉町産業交流センターで昼食休憩の後、震災遺構請戸小学校を見学しました。次に、東日本大震災・原子力災害伝承館で、バスでのフィールドワーク、語り部講話と展示見学にて研修しました。道の駅なみえで買い物をし、宿舎のJヴィレッジにチェックインし、夕食会で交流しました。



震災遺構請戸小学校



フィールドワーク



語り部講話



展示見学

二日目はあいにく悪天候の中、Jヴィレッジの研修室で、福島県水産海洋研究センターの鷹崎和義さん、福島県漁業協同組合連合会の齋藤健さんによる「福島県の水産物の安全・安心について」「ふくしまの漁業は今」についての講義を受けました。Jヴィレッジを出発し、特定廃棄物埋立処分施設の見学は雨で中止になりましたが、施設の概要等について学習しました。最後に、東京電力のご案内で、廃炉資料館の見学と、福島第一原子力発電所の構内視察を行い、仙台空港から帰阪しました。



福島県の水産物・漁業の講義



特定廃棄物埋立処分施設の学習



東京電力廃炉資料館

サラダボウル

～ひとりひとりが輝いて～

「大阪大学ダイバーシティ&インクルージョンセンター」 見学報告

大阪よどがわ市民生活協同組合
彦阪 浩司

ジェンダーフォーラム協議会では、2023年8月3日に大阪大学ダイバーシティ&インクルージョンセンター（以下、D & Iセンター）に①D & Iセンター設置の経過と主な取組みを学ぶこと、②多様性を尊重する環境整備のために設置された施設を見学することを目的に訪問しました。

当日は、副センター長の日高教授にD & Iセンター設置の経過や取組みについて説明をお聞きしたのち、ジェンダーレストイレや一時保育施設、保育園など大学内の施設を見学させていただきました。

■大阪大学人数

大阪大学の教職員・学生の人数（2023年5月1日現在）は、教職員人数7,143人、内女性は45.9%の3,281人。学生（大学院生含む）人数23,123人、内女性は33.2%の7,668人。

■大阪大学のD & Iの歴史

2005年に「男女共同参画に関する検討ワーキング」の立ち上げからスタート。組織としては2015年「男女共同参画・社会学連携室」、2016年に「男女協働推進センター」が発足。2022年4月より現在の「D & Iオフィス」、「D & Iセンター」に改組し、発展させながら推進。

大阪大学憲章の中で「人権の擁護」を掲げ、2016年「大阪大学男女協働推進宣言」、2017年「大阪大学SOGIの多様性に関する基本方針」、2020年「イクボス宣言×SOGIアライ宣言」、2021年「大阪大学D & I推進宣言」を公表。

■現在のD & I推進宣言の方針

D & I推進宣言では、多様性の保証だけでなく、その人らしさとして、当たり前を受け入れられ、尊重される環境作りこそが組織全体としての活力を発展させるために不可欠で、そのための環境の整備を促進・徹底することを宣言。

方針の柱は、①全構成員の意識改革と学び方・働き方改革、②多様性の尊重と包摂に向けた多角的な取り組み、③ジェンダー平等に向けた均等支援の3点。

■ D & I 推進体制

D & Iセンターには、ジェンダー部門、次世代育成部門、ダイバーシティ部門の3部門を設置されており、各研究所・附置研究所等から選出されたD & Iセンター兼任教員が所属部局で推進。

D & I施策を実施するD & IセンターとD & I方針策定を担うD & Iオフィスが連携し、事務体制をダイバーシティ推進課が担い推進。

■ D & I 取組み

①女性研究者活躍支援	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 研究支援員制度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 出産や育児、介護、不妊治療等で研究時間を十分に確保できない研究員を支援。研究支援員は大学院等で支援員を経験することで自らの将来をイメージできる契機にしている ◇ 出産予定女性教員の代替教員充当の弾力的運用制度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 産休・育休期間中に加え、産休前からの代替教員人件費支援 ◇ 上位職比率向上施策
②次世代育成（理工系進学応援、自然科学系女子学生すそ野拡大）	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 自然科学系女子学生ネットワーク「asian（アザイム）」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生と保護者に女性活躍のお手本となる先輩を提示 ・ 「女性≠理系」のアンコンシャス・バイアスの克服促進 ◇ 女子高校生・保護者向け理工系女子フェスティバル・進学相談会 ◇ 入学支援金制度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 理工系学部女子入学生対象・50人に各20万円授与（賛同企業と共に）
③多様性を尊重する環境整備（育児と仕事の両立支援）	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 学内保育園（キャンパス内に3園、定員計185名） ◇ 病児・病後児保育、一時預かり保育 ◇ コラボレーティブ・スペース <ul style="list-style-type: none"> ・ 一時預かり、女性教職員と女性学生交流、授乳室、妊娠婦休憩室
④多様性を尊重する環境整備（Well-being）	<ul style="list-style-type: none"> ◇ ウェルビーイングの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなのSOGI多様性ガイドブック（学生の意識啓発、当事者への情報提供） ・ ALL GENDERトイレの設置 ・ 生理用品無償提供事業（大学独自開発の専用デイスペンサーを200箇所以上設置、ジェンダー平等及び女子学生のウェルビーイングの向上を目的） ◇ 構成員の意識改革 <ul style="list-style-type: none"> ・ アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）研修（学生含めたEラーニング、各部局でのミニセミナー実施） ・ 男性の意識改革セミナー
⑤学外とのネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 全国ダイバーシティネットワーク ◇ 産学共創教育（企業の女性研究者支援） <ul style="list-style-type: none"> ・ DE & Iコンソーシアム・バンダイ ・ 女性研究者の学び直し推進

■ 大阪大学 D & I 次期フェーズ

これまではD & Iを「イノベーションの源泉」と位置付け学内外で推進、女性を直接的に支援する施策を中心に実施。次期フェーズはD & Iの質の向上も目指す。キーワードはDE & Iの

エクイティ (Equity)。

- ・ 機会の平等 (Equality) だけでは解決できない「社会構造的な不平等」があるという現実を前提に結果の平等・公正 (Equity) が重要
- ・ マイノリティの生きづらさ、働きにくさ、差別を人権問題と捉え、マジョリティが持つ「特権」に気づいてもらい、意識改革を進める

大阪大学では、D & Iを推進する上で、トップメッセージ、方針の公表、それに沿った組織体制の構築、しくみや環境整備を自組織の理念や課題 (社会情勢も含め) から考え、教職員が中心となり、学生や地域、企業も巻き込んで実践されていました。地域で事業・活動を行っている生協が参考にできることは多くあり、また生協として大学と連携できることもあるのではないかと感じました。



D & Iセンター入口



ALL GENDER トイレ



生理用品専用ディスペンサー



コラボレーティブ・スペース



コミュニケーションエリア

スケジュール

9月

- 1日(金) 健康チャレンジ実行委員会
- 3日(日) 大阪府生協連理事・監事研修“福島県視察”(～4日)
- 5日(火) OCoNoMi おおさか第19回幹事会
- 13日(水) 第2回組織活動委員会
- 14日(木) 第3回ジェンダーフォーラム協議会
- 15日(金) 消費者支援機構関西(KC's)常任理事会
- 20日(水) 第2回理事・監事研修会
- 20日(水) なにわの消費者団体連絡会幹事会
- 20日(水) 県連活動交流会
- 21日(木) 第2回大規模災害対策協議会
- 22日(金) 消費者支援機構関西(KC's)理事会
- 28日(木) 関西地連第2回運営委員会

10月

- 3日(火) OCoNoMi おおさか第20回幹事会
- 6日(金) 健康チャレンジ実行委員会
- 11日(水) 消費者支援機構関西(KC's)常任理事会
- 18日(水) 第3回理事・監事研修会
- 18日(水) なにわの消費者団体連絡会幹事会
- 19日(木) 第2回理事会
- 25日(水) 第5回生協大会実行委員会
- 26日(木) 消費者支援機構関西(KC's)理事会
- 27日(金) 第2回近畿地区生協府県連協議会

11月

- 5日(日) 第21回魚庭の海づくり大会
- 9日(木) 消費者支援機構関西(KC's)常任理事会
- 10日(金) 健康チャレンジ実行委員会
- 15日(水) 第3回組織活動委員会
- 15日(水) なにわの消費者団体連絡会幹事会
- 16日(木) 第4回ジェンダーフォーラム協議会
- 24日(金) 消費者支援機構関西(KC's)理事会
- 29日(水) 生協大会
- 30日(木) 第3回大規模災害対策協議会
- 30日(木) 関西地連第3回運営委員会・第2回県連活動推進会議